

健診検査センターニュース

No.556 号

運営委員会より

6月16日（木）平成28年度第3回の運営委員会を開催いたしました。

1. 特定健診5月の受診者数は、下記のとおりでした。

なお、累計前年比269人の減は、東部4地区の健診が6月実施となったためです。

	5月受診者数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 5月現在 0.01% / 目 標 30.0%
函館市国保	4人（ 1人 133.3%）	4人（△163人 2.4%）	
後期高齢者	2人（ 0人 100.0%）	2人（△40人 4.8%）	
その他	64人（△31人 67.4%）	103人（△66人 60.9%）	
合 計	70人（△30人 70.0%）	109人（△269人 28.8%）	

実施機関：34施設／登録機関101

- 函館市より「受診勧奨」に係る協力依頼がありました。近日中に当該医療機関に対し『受診券をお持ちでない方の受診について』等のご案内をさせていただくとともに、受診勧奨のためのポスター、チラシ等をお届けいたしますので、よろしくお願いいたします。

2. 28年5月の健診検査事業収益は、下記のとおりでした。

	5月（前年同月比）	28年度累計（前年比）
一般検査収益	92.7 %	95.1 %
健診収益	101.7 %	112.1 %
合 計	96.1 %	100.1 %

3. 臨時職員1名の採用について報告がありました。

《 ちょっと一言 》

1年で最も日が長い季節はなんだか得した気分になりますね。そんな中で参議院選挙が近づき世の中は選挙モードです。選挙の時にいつも思うのは、社会の事実はひとつのはずなのに、政党の主張はなぜこうも乖離するのか？ 勿論、立ち位置が違えば、そこから見える状況は変わるでしょうし、どのデータを見るかによって解釈は変わってきます。その一番いい事例は「就職氷河期」です。一般的に就職氷河期とはバブル崩壊後の1993～2005年頃、不景気で就職する若者は非常に苦労したと言われています。バブル崩壊後、企業は「人件費はコスト」と考えるようになり、求人数や正社員を減らしましたが、この時期社会に出た若者はいわゆる「団塊ジュニアたち」だったことも忘れてはいけません。前の世代よりも人数が増えただけで、就職の間口が同じならそれだけでも就職難になります。彼らの世代は自分たちの人数が前後の世代よりも多いことプラス、バブル崩壊等々の苦難が同時にかぶさってきたのです。そのため、団塊ジュニアは子供を持っていない人が多くなりました。日本の少子化については1980年代にすでに危惧する論客はいましたが、当時の厚生官僚たちは「団塊ジュニアが子供を産めばもともと母数が大きいので出生数はまた盛り返す」とふんだため、少子化対応が極めて遅れた、と言われています。就職難の原因は景気だけではなく、その時の求職者の人数も考慮しなければなりません。

政治家たちは「失業率は下り有効求人倍率は上がったので景気をよくした」と言いますが、巷の人々に好況感はありません。だって若者の数は毎年減り続け、生産年齢人口が減っているんですから、同じ求人数でも失業率はどんどん減るんだよな、っておばさんは思います。どんなデータをどう読むかはとても大事なことです。実は日本人の実質賃金は今よりも民主党政権時代の方が高かったんですけど、アベノミクスでは実質賃金は上がらないんですかね？

(文責 小葉松洋子)

検査内容変更のお知らせ

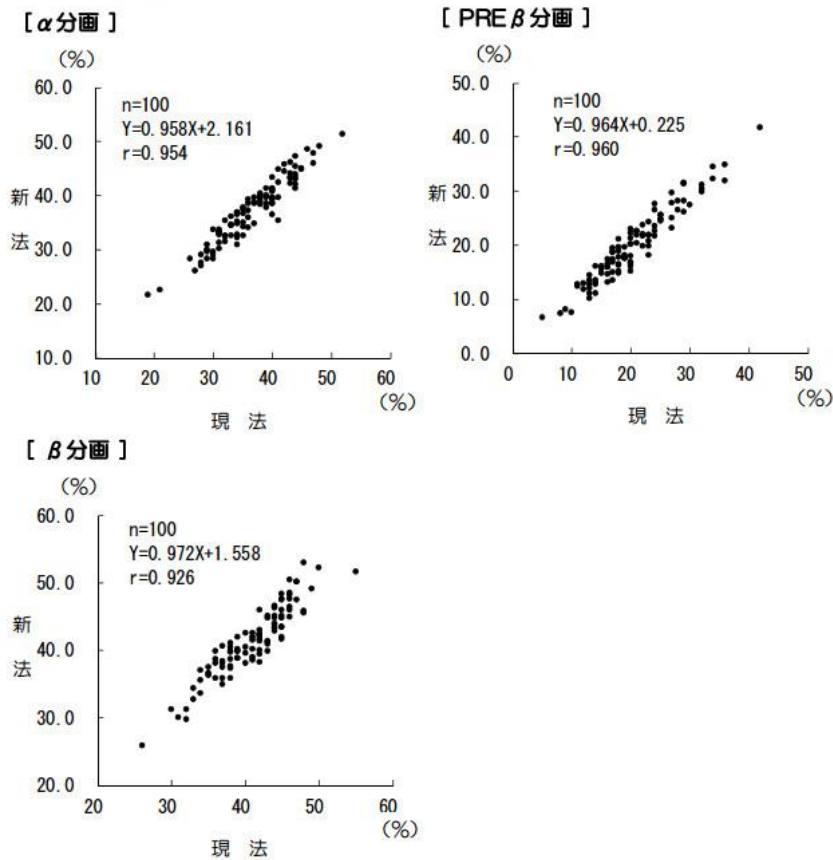
平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
 この度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。
 何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日 : 平成28年6月30日(木)より変更

変更項目 : 1094 リポ蛋白分画(アガロース電気泳動法)

	(新)	(旧)
基準値	α M 26.9~50.5 F 32.6~52.5 PRE β M 7.9~23.8 F 6.6~20.8 β M 35.3~55.5 F 33.6~52.0 (%)	α M 29~50 F 34~53 PRE β M 8~29 F 3~23 β M 30~55 F 33~53 (%)
報告範囲	0.0~100.0	0~100
備考	現試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが製造販売する試薬への変更	

▼現法と新法の比較

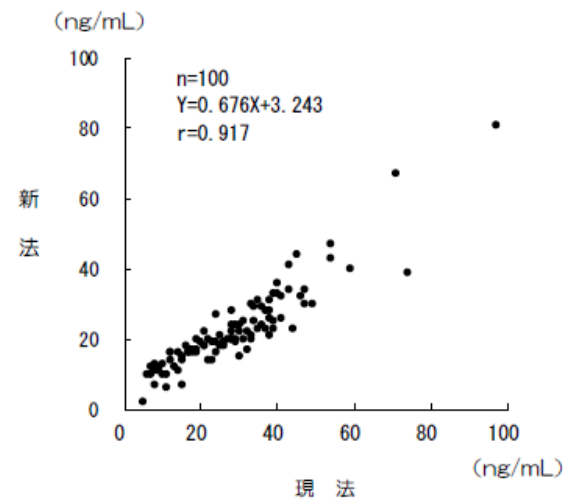


変更項目： 2151 25-OHビタミンD

	(新)	(旧)
項目名称	25OHビタミンD(RIA)	25-OHビタミンD
検査方法	RIA 固相法	RIA2 抗体法
基準値	なし (ng/mL)	7~41 (ng/mL)
報告範囲	4未満、4~99900000	5以下、5~99900000

▼現法と新法の比較

25-OHビタミンD



▼参考文献：岡崎 亮：臨床ガイド 2013~2014（文光堂）：403~406
（臨床的意義）